



HEALTH
RESEARCH

公益財団法人
ファイザー・ヘルスリサーチ振興財団
P F I Z E R H E A L T H R E S E A R C H F O U N D A T I O N
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号 新宿文化クイントビル
Tel. 03-5309-6712 Fax. 03-5309-9882
<http://www.health-research.or.jp>

2020年6月25日

報道機関各位

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

新理事長就任のお知らせ

— 前PMDA理事長、近藤達也氏が選任 —

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団では、2020年6月16日付で、島谷 克義が、任期満了をもって理事長を退任し、6月24日付で、近藤 達也(一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長)が、理事長に就任致しましたので、お知らせ致します。また、新たな役員等の体制は、次のとおりです。

理事・監事・評議員

*五十音順・2020年6月25日現在

理 事 長(新任)	近藤 達也	一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長
常務理事(新任)	鈴木 修	高崎商科大学 特任教授／税理士 公益財団法人公益法人協会 主任研究員
理 事	安達 一彦	前一般財団法人救急振興財団 専務理事
理 事	井伊 雅子	一橋大学 国際・公共政策大学院 教授
理 事	小松 浩子	日本赤十字九州国際看護大学 学長
理 事	坂巻 弘之	神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科 教授
理 事	長谷川 剛	医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 特任副院長
理 事	福原 俊一	京都大学医学研究科 特任教授／福島県立医科大学 副学長／ Johns Hopkins 大学 Bloomberg School of Public Health 客員教授
理 事	丸木 一成	国際医療福祉大学大学院 教授
理 事(新任)	山崎 力	国際医療福祉大学 副学長／未来研究支援センター長
監 事	宇都宮 啓	医療法人社団健育会 副理事長／慶應義塾大学 客員教授
監 事	山田 章雄	山田章雄公認会計士事務所 公認会計士
評 議 員	姉川 知史	名古屋商科大学マネジメント研究科 教授／慶應義塾大学 名誉教授
評 議 員	梅田 一郎	一般社団法人新時代戦略研究所 理事長 (前ファイザー株式会社 取締役名誉会長)
評 議 員	甲斐 克則	早稲田大学 理事／大学院法務研究科 教授
評 議 員	河北 博文	社会医療法人河北医療財団 理事長
評 議 員	黒川 達夫	一般社団法人バイオシミラー協議会 理事長
評 議 員	島内 憲夫	順天堂大学国際教養学部 学部長補佐
評 議 員	西村 周三	京都先端科学大学 経済経営学部長／経済学科 教授
評 議 員	橋本 浩一	ファイザー・ホールディングズ合同会社 執行役員／法務部門長
評 議 員	平井 愛山	千葉県循環器病センター 臨床研修アドバイザー／ 日本慢性疾患重症化予防学会 代表理事
評 議 員	平野 かよ子	宮崎県立看護大学 学長

近藤 達也 (コンドウ タツヤ)

(昭和17年4月5日生、出身地:東京)



一般社団法人Medical Excellence JAPAN理事長
一般社団法人日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会(JUMP)理事

昭和43年	東京大学医学部医学科卒業
昭和44年	東京大学医学部脳神経外科教室入局
昭和47年	国立東京第一病院脳神経外科(厚生技官)
昭和49年	東京大学医学部文部教官助手(脳神経外科)
昭和52年	マックス・プランク研究所(西ドイツ)脳研究施設留学
昭和53年	国立病院医療センター脳神経外科(厚生技官)
平成元年	国立病院医療センター脳神経外科長
平成5年	国立国際医療センター手術部長
平成15年	国立国際医療センター病院長、日本病院会常任理事
平成20年	独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)理事長
平成25年	国立国際医療研究センター名誉院長 内閣官房健康・医療戦略室 健康・医療戦略参与
平成31年	一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長 独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)名誉理事長 一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長
1993年	中日友好医院 名誉顧問
2014年	Member on the CoRE Advisory Board Advisor
2019 年	Drug Information Association Fellow

主な所属学会等

日本脳神経外科学会専門医、日本脊髄外科学会専門医、早稲田大学招聘研究教授、日中医学協会監事など

主な受賞歴

脳神経外科学会 齊藤眞賞(社会賞)受賞

以上、2020 年1月9 日現在



公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団の概要

当財団は、保健医療・福祉技術の進歩を国民の QOL (Quality of Life) の向上に結び付けるために、国際的に重要視されつつある「ヘルスリサーチ」を総称される調査研究のわが国における振興を図るため、この分野の調査研究プロジェクトの助成および研究者の国際交流の場を提供すべく、ファイザー製薬株式会社(財団設立当時、現ファイザー株式会社)から拠出の申し出があった基金により、1992 年 3 月に設立されました。

1. 名 称 : 公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団
2. 設 立 : 1992 年 3 月 23 日 (公益財団法人への移行は、2010 年 10 月 1 日)
3. 目 的 : ヘルスリサーチ(保健医療・福祉分野における科学技術の進展を、国民の QOL の向上につなげるために、多元的な学問の方法論を用いて、最適な保健医療・福祉のシステムを構築する学問)に対する研究助成、提言、研究者の育成、調査研究、国際交流等を行うことにより、わが国におけるヘルスリサーチの振興を図るとともに、国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。
4. 公益目的事業 :
 - (1) ヘルスリサーチに関する国際共同研究、国内共同研究等に対する助成事業
 - (2) ヘルスリサーチに関する研究者の育成支援事業
 - (3) ヘルスリサーチに関する調査研究及びそれに関する提言事業
 - (4) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業
5. 設立発起人 :

宇澤 弘文	新潟大学経済学部 教授
大谷 藤郎	財団法人藤楓協会 理事長
岡本 道雄	神戸市立中央市民病院 病院長
加藤 一郎	学校法人成城学園 学園長
中尾 喜久	自治医科大学 学長
紫野 巍	ファイザー製薬株式会社 相談役名誉会長

(所属役職名は当時)
6. 所在地: 東京都渋谷区代々木 3-22-7

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

東京都渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル
TEL : 03-5309-6712 / E-mail : hr.zaidan@pfizer.com
ウェブサイト <https://www.health-research.or.jp/>



新理事長ご挨拶

このたび、本財団5代目の理事長に選任されました。就任にあたって、ご挨拶申し上げます。

2020 年が、このような年になるとは、一体誰が予想し得たでしょうか。世界中の人々が、未だかつて経験したことのない新しい脅威に曝され続けながら、日々を不安な気持ちで過ごしているのです。そのような状態で半年が過ぎようとする今、この感染症が人類に与えた脅威は、命を脅かすというだけでなく、省みられないまま、長らく潜在化していた社会問題を我々の眼前に突き付けてくるような側面も持ち併せていることも分かり始めました。

当財団は、米国製薬企業ファイザー社の日本法人が 1992 年に創設した公益財団法人です。事業目的として掲げる“ヘルスリサーチ”的概念は、世界保健機関(WHO)欧州ヘルスリサーチ・アドバイザリー委員会が「保健医療・福祉の基礎は、生物医学的研究の成果である知識技術にあることは厳然とした事実であるが、これらの知識技術をすべての人の健康に役立てるには、そのプロセスに影響を与える社会や環境に存在する諸要因を調査研究して適切なシステムをつくる基礎情報を得ることが重要である。これらの調査研究には、異なる学問領域や職能者の協力によって人間が保健医学の恩恵をより良く享受できるようにするために役立つ知識が動員される必要がある」と表明するように、今日の様々な保健医療にまつわる課題解決のためには、学際的な知識の集約が必要であるとの考え方に基づき、日本社会におけるヘルスリサーチ文化の醸成を目指して参りました。

ヘルスリサーチの観点から、今般の新型コロナウィルス感染症を考えると、ワクチンや治療薬の開発という生物医学的研究が、何十万人もの研究者たちによって世界中で日夜行われており、未知のウィルスについて解明が進んでいます。また、ワクチンや治療薬が未開発の現在でも、既存薬での治療法も現場の医療従事者の方々の努力により進歩しています。従って、これまでの経験を省みつつ、我々は、これら生物医学的研究の成果と、実践される医療の乖離が大きくならないようにするための方策を検討するステージに来たと言えるでしょう。その際、「最先端の医学・健康科学の成果を最も効率的な方法で受け手に届け、あるいは最も適切な利用方法を開発して、その方法を受け手が採用できるように環境を整える」というヘルスリサーチのプロセスが重要となります。なぜなら、そこでは医療の受け手側主体の研究姿勢が求められるからです。受け手側主体の研究であれば、様々な社会的課題に対しても効果的・効率的な社会的システムを構築することができるでしょう。

製薬企業として、“ヘルスリサーチ”という、いわば社会環境作りにフォーカスするという、財団創設者の先見の明に深く敬意を表するとともに、その想いを広めていくよう、わが国におけるヘルスリサーチの振興に尽力する所存です。

今後とも、関係者の皆さまの変わらぬご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団
理事長(代表理事) 近藤 達也

